

齒科放射線

Dental Radiology

NPO法人 日本歯科放射線学会

Official Journal of the Japanese Society for
Oral and Maxillofacial Radiology

第58卷 2018

増刊号

<https://www.jsomfr.org>

齒科放射線
Dent. Radiol.



NPO 法人 日本歯科放射線学会 第59回学術大会・第15回定例総会

プログラム・講演抄録集

学術大会メインテーマ

テクノロジー ルネサンスII

会 期：2018年5月25日(金)～ 27日(日)

大会長：櫻井 孝

神奈川歯科大学 大学院歯学研究科 顎顔面病態診断治療学講座

会 場：神奈川歯科大学キャンパス内講堂

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82

ご挨拶

日本歯科放射線学会 第59回学術大会

大会長 櫻井 孝 神奈川歯科大学 大学院歯学研究科
顎顔面病態診断治療学講座



平素より日本歯科放射線学会会員の皆様、ならびに関係者の皆様には、御指導・御鞭撻を賜り誠に有難うございます。厚く御礼申し上げます。

さて、この度2018年5月25日(金曜日)～5月27日(日曜日)にかけて、私共の大学においてNPO法人日本歯科放射線学会第59回学術大会・第15回定例総会を開催させていただき運びとなりました。エビデンスを伴わない歯科医師過剰の風評により、歯学界全体が迎えた暗黒時代の傷跡がまだ癒えきれぬ中、我が国における少子超高齢社会の到来に伴う疾病構造の変化や、社会的ニーズの多様化などにより、歯科医療業界は大きな変換点を迎えております。このことは、歯科放射線学領域においても例外ではなく、診療のみならず教育や研究の場においても様々な対応が求められております。そこで今回の大会テーマは『テクノロジー ルネサンスⅡ』と定め、1999年に『テクノロジー・ルネサンス』をテーマとして本学で開催させていただいた大会を引き継ぎ、これからの歯科放射線学における再誕生の方向性について議論する場にしていただければと思慮しております。

将来ビジョンの参考のため、小泉進次郎 衆議院議員に『人生100年時代、2020年以降の日本』をタイトルとして特別講演を御願い致しました。教育講演は、臨床的な視点から『口腔癌の臓器温存治療を目指して』をタイトルに、横浜市立大学大学院医学研究科 藤内祝先生に御講演いただきます。また、招待講演として、教育的な視点から The University of Washington School of Dentistry の Curtis Ssu-Kuang Chen 先生に『From Pike Place Fish to UW Husky - Univ. of Washington OMFR advanced training program experience』、研究的な視点から The University of British Columbia, Faculty of Dentistry の Catherine Poh 先生に『Translational research using optical technologies in detection and risk assessment of at-risk oral lesions』のタイトルによる講演を御願いしております。

大会の開催期間におきましては、新しく開院した附属病院や、人体標本と100年史が展示された神奈川歯科大学資料館なども見学していただきたいと考えております。スタッフ一同、充実した学術大会となるよう鋭意準備を進めてまいりますので、是非横須賀に足をお運びいただきますよう御願い申し上げます。皆様の御参加を心よりお待ちしております。

学術大会案内

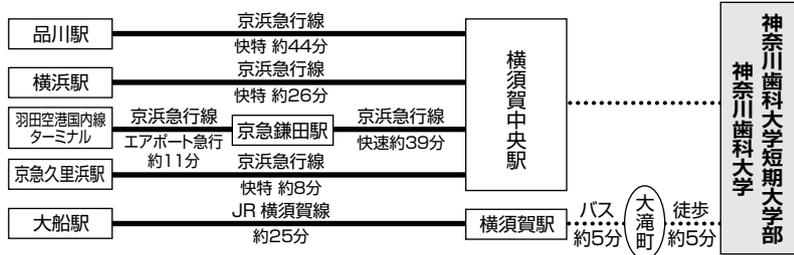
会 期：2018年5月25日(金)～27日(日)

会 場：神奈川歯科大学キャンパス内講堂

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82

5月25日(金)	第1回被選理事会	本部棟4階 会議室	10:00～10:30	
	理事会	本部棟4階 会議室	10:30～13:30	
	学術委員会・学術集会委員会	本部棟4階 会議室	13:30～14:00	
	口腔放射線腫瘍認定委員会	本部棟4階 会議室	14:00～14:30	
	認定委員会	本部棟5階 会議室	14:00～14:30	
	各種委員会	本部棟3、5階 会議室	13:30～14:30	
	第2回被選理事会	本部棟4階 会議室	14:30～15:00	
	代議員会	講堂1階 第1小講堂	15:10～16:00	
	口腔放射線腫瘍研修会・認定審査	講堂1階 第1小講堂	16:10～18:20	
	コンピュータ応用・画像情報研究会	講堂1階 第2小講堂	16:10～18:10	
	編集委員会	本部棟3階 会議室	17:10～18:10	
	理事懇親会		19:00～	
	5月26日(土)	開会の辞	講堂2階 大講堂	9:25～9:30
		一般口演1・2	講堂2階 大講堂	9:30～10:40
定例総会、表彰式、受賞講演		講堂2階 大講堂	10:50～12:00	
ランチョンセミナー		講堂1階 第2小講堂	12:15～12:55	
日本歯科医学会会長講演		講堂2階 大講堂	13:05～13:45	
招待講演1		講堂2階 大講堂	13:55～14:40	
招待講演2		講堂2階 大講堂	14:45～15:30	
一般口演3		講堂2階 大講堂	15:40～16:20	
ポスター展示		講堂1階 学生ホール	9:00～16:25	
企業展示		講堂2階 講堂ロビー	9:00～16:25	
特別講演(メルキュールホテル横須賀)			17:00～18:00	
懇親会(メルキュールホテル横須賀)		18:30～		
5月27日(日)	一般口演4・5	講堂2階 大講堂	9:00～10:10	
	ポスターセッション 質疑・応答	講堂1階 学生ホール	10:15～10:45	
	花村信之メモリアルレクチャー1	講堂2階 大講堂	10:50～11:35	
	花村信之メモリアルレクチャー2	講堂2階 大講堂	11:40～12:25	
	教育講演	講堂2階 大講堂	13:40～14:30	
	一般口演6・7・8	講堂2階 大講堂	14:40～16:40	
	歯科放射線専門医会(市井の会)	講堂1階 第1小講堂	9:00～12:00	
	ポスター展示	講堂1階 学生ホール	9:00～15:00	
	企業展示	講堂2階 講堂ロビー	9:00～15:00	
	閉会の辞	講堂2階 大講堂	16:40～16:45	
	新病院見学会・資料館見学会		17:00～	

会場へのアクセス



大学への交通機関

■京浜急行線利用の場合

横須賀中央駅下車、東口徒歩10分

■JR線利用の場合

横須賀駅下車、京浜急行バス利用

①番のりば 「衣笠駅」行きなど

②番のりば 「三崎東岡」行きなど

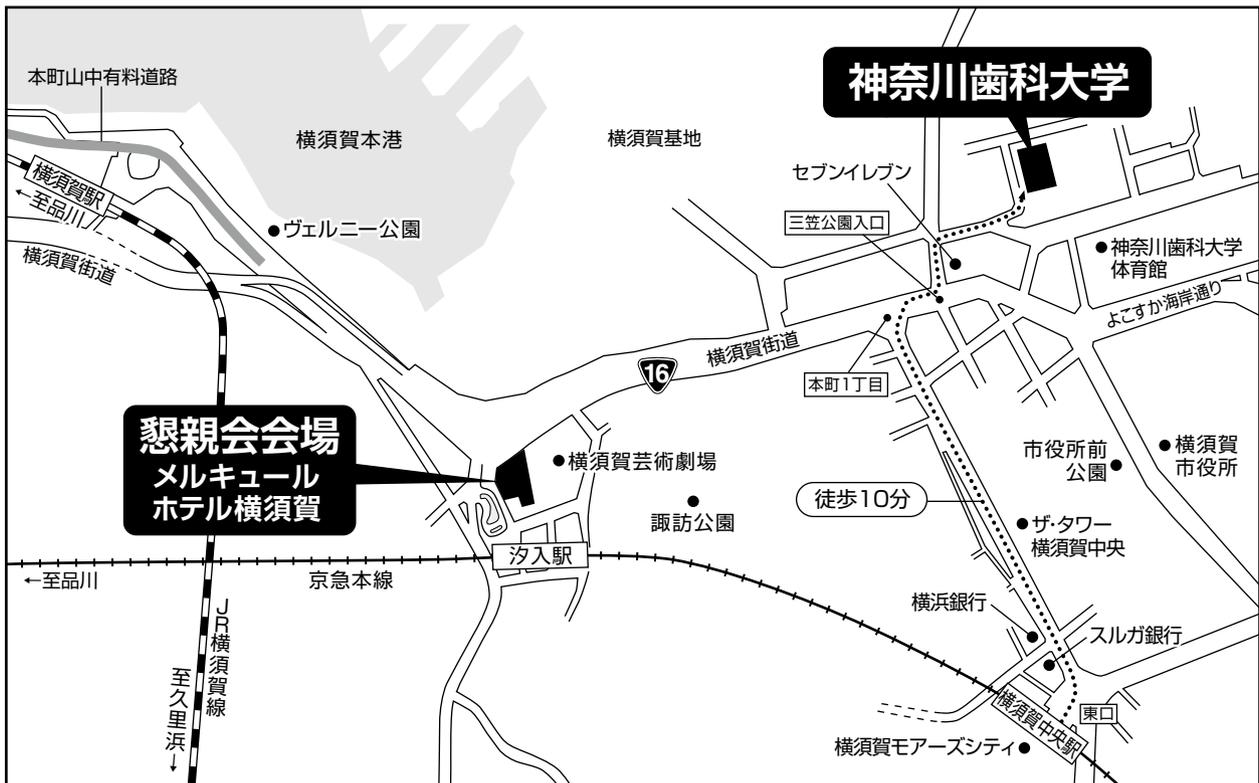
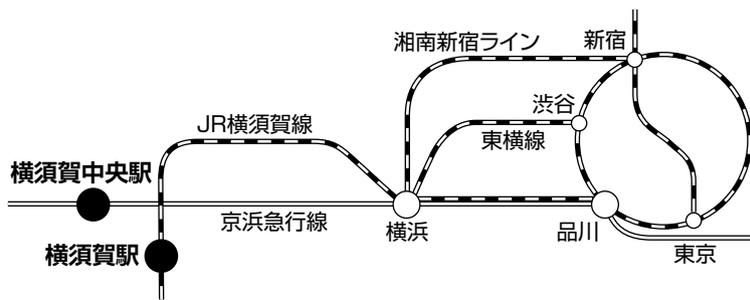
③番乗りば 「観音崎」「堀内」行きなど

「大滝町」下車(バス所要時間約5分)

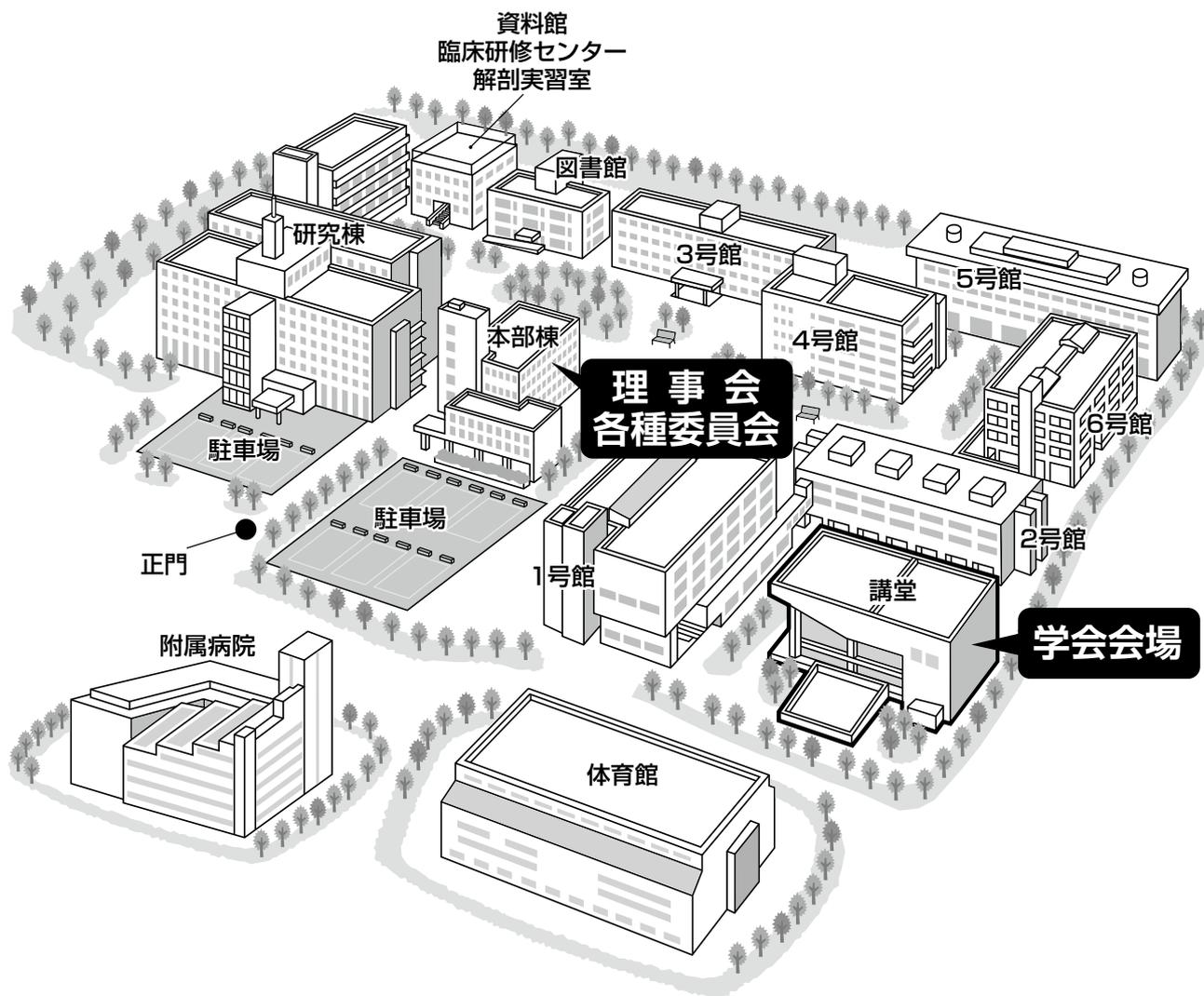
徒歩5分

横須賀中央駅を経由する路線に

ご乗車ください。(約5分おきに運行)

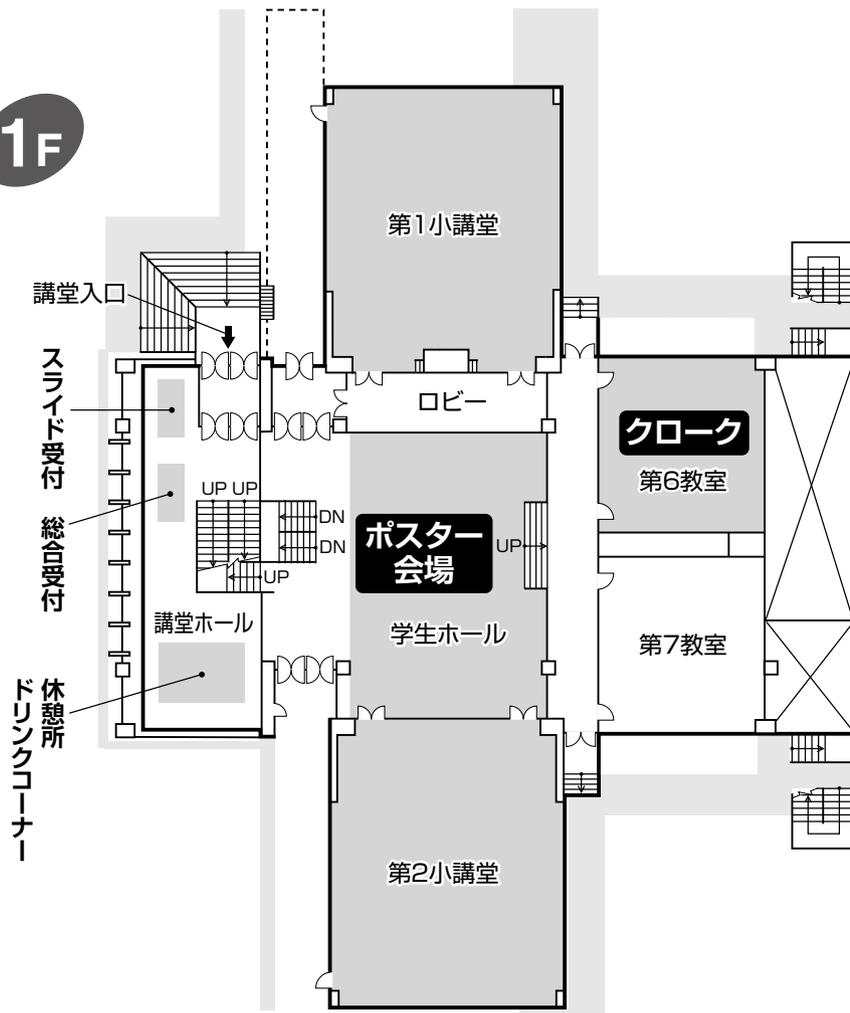


キャンパスマップ

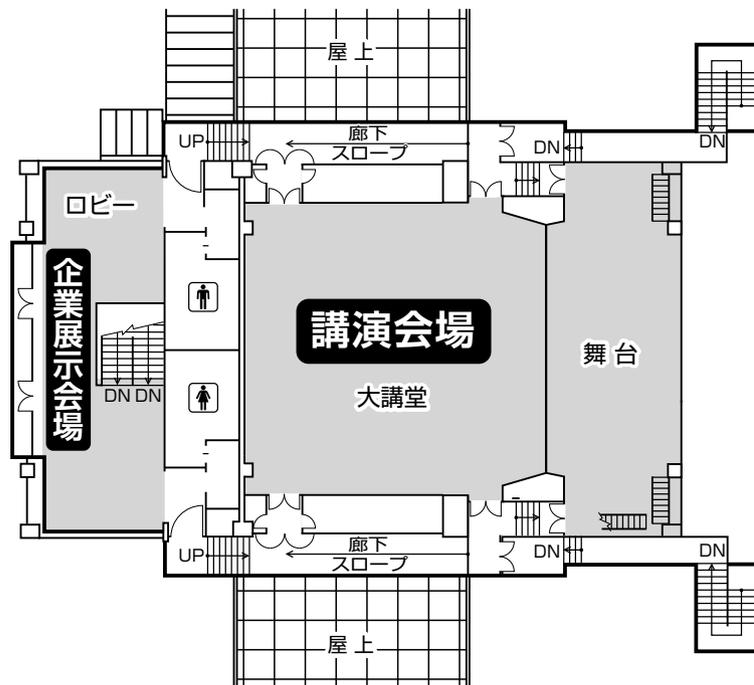


会場案内

1F



2F



ご 案 内

1. 総合受付

1) 時間・場所

5月26日(土) 8:30～16:25 講堂1階 講堂ホール

5月27日(日) 8:15～12:00 講堂1階 講堂ホール

2) 事前登録されている方は事前登録受付にて領収証、ネームプレートをお受け取り下さい。
事前登録されていない方は、当日受付にて登録をお願いします。

3) 大会当日に学会参加登録および懇親会参加登録をされる方

学会参加費、懇親会参加費は共に12,000円です。

総合受付にて参加費を現金でお支払いください。領収証、ネームプレートをお渡しいたします。

4) 日本歯科医師会 生涯研修

本学術大会は「日本歯科医師会生涯研修事業認定研修会」に指定されています。必ず生涯研修登録用研修ICカードを持参して下さい。総合受付横にICカードリーダーを準備いたしますので、登録は各自で行ってください。

2. 口演発表者へのお願い

- 口演会場は講堂2階 大講堂です。
- スライド受付を講堂1階 講堂ホール(総合受付横)に設置いたします。
- 受付時間は5月26日(土)8:30～16:25、5月27日(日)8:15～15:00です。
- スライド受付はCD-Rに限ります。当日ご持参の上、ご発表のセッション開始1時間前(9:00からのセッションの先生は45分前)までにCD-Rをご提出ください。ご提出時にPC上で動作確認を行ってください。
- 保存ファイル名は「演題番号」「氏名」の順で保存してください。(例)「一般口演1(演題番号01-1)」の場合、01-1横須賀太郎.ppt(または.pptx)
- 発表時間は7分、質疑応答は3分です。発表終了時間の1分前に合図いたします。
- 発表はWindowsのみとさせていただきます。単写プロジェクター投影で、ご利用いただくPCは大会事務局で用意いたします。円滑に進めるために、動画の使用、持込みPCの接続はご遠慮いただきます。
- プレゼンテーション用ファイルはMicrosoft PowerPoint 97-2003以降の形式(.ppt、.pptx)でご用意ください。外字フォントは使用しないようお願いいたします。
- COI(利益相反)状態について、最初あるいは2枚目のスライドに開示をお願いいたします。また、COI自己申告書を大会期間中に総合受付へ提出してください。自己申告書は大会ホームページからダウンロードしてください。お忘れの方は当日、総合受付で記載させていただきます。
- セッション開始前に会場に入り、演題順に次演者席にご着席ください。

3. ポスター発表者へのお願い

- ポスター展示会場は講堂1階 学生ホールです。
- ポスター1演題あたり縦180cm×横120cmのパネル1枚がご使用いただけます。
- パネルには確認用の演題番号を付けてあります。5月26日(土)9:00～10:00にご自身の演題番号のパネルに貼り出してください。演題番号はプログラム等にてご確認ください。
- ポスターパネルへの貼り付けは画鋏を使用します。画鋏はこちらで用意いたします。
- ポスター上部20cm程度に演題番号、演題名、所属、発表者名を記入して下さい。顔写真の貼り付けはご自由です。発表内容は【目的】【対象と方法】【結果】【結論】の順でお願いいたします。
- COI(利益相反)状態について、ポスター最下段に開示をお願いいたします。
また、COI自己申告書を大会期間中に総合受付へ提出してください。自己申告書は大会ホームページからダウンロードしてください。お忘れの方は当日、総合受付で記載していただきます。
- 質疑応答を5月27日(日)10:15～10:45に、フリーディスカッションの形式で行います。その間、筆頭演者はご自身のポスターの前で待機し、質疑応答を行って下さい。筆頭演者には、演題番号が記載されたプレートをお掛けいただきます。
- ポスターの撤去は5月27日(日)15:00～16:00の間でお願いいたします。学会終了までにお引き取りがないポスターは、大会事務局で処分いたします。

4. 座長の先生へのお願い

- 口演会場は講堂2階 大講堂です。
- 1演題につき発表時間は7分、質疑応答は3分です。タイムスケジュールの関係上、時間厳守での進行をお願いいたします。
- セッション開始10分前には会場に入り、次座長席にて準備をお願いいたします。

5. 企業展示のご案内

- 展示会場は講堂2階 講堂ロビーです。
- 搬入は5月25日(金)10:00から可能です。
- 展示時間は5月26日(土)9:00～16:25、5月27日(日)9:00～15:00です。
- 撤去、搬出は5月27日(日)15:00～16:00の間でお願いいたします。

6. 休憩室

講堂1階 講堂ホール奥(総合受付左)を休憩室としております。飲み物やお菓子を用意してありますので、ご自由に利用ください。

7. クローク

お荷物は講堂1階 第6教室でお預かりいたします。その際、引換券をお受取りください。
貴重品はお預かりできませんので、ご自身で管理をお願いいたします。

8. 懇親会

日時：2018年5月26日(土) 18:30～

会場：メルキュールホテル横須賀

〒238-0041 神奈川県横須賀市本町3-27

TEL：046-821-1111 FAX：046-821-1122

<https://mercureyokosuka.jp/>

学会場から懇親会場への所要時間は徒歩約15分です。懇親会場までの主要な地点に、大会スタッフが立ってご案内いたします。交通の安全面も考慮して、横須賀で有名な「どぶ板通り」を通る経路をご案内いたします。

9. その他

プログラム・講演抄録集を追加でご購入される方は、1冊1,000円にて当日、総合受付で販売いたします。

冊数に限りがございますので完売の場合はご了承下さい。

10. 連絡先

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82

神奈川県立歯科大学 大学院歯学研究科 顎顔面病態診断治療学講座内

NPO 法人日本歯科放射線学会第59回学術大会・第15回定例総会

準備委員長：香西 雄介

TEL：046-822-8851(医局直通) FAX：046-822-8850

E-mail：jsomfr59@kdu.ac.jp

学会主催の会議等のご案内

1. 5月25日(金)の諸会議について

10:00～10:30	第1回被選理事会	(本部棟4階 会議室)
10:30～13:30	理 事 会	(本部棟4階 会議室)
13:30～14:30	各種委員会	(本部棟3、4、5階 会議室)
14:30～15:00	第2回被選理事会	(本部棟4階 会議室)
15:10～16:00	代 議 員 会	(講堂1階 第1小講堂)

2. 花村信之メモリアルレクチャーについて

〈会 場〉	講堂2階 大講堂
〈日 程〉	5月27日(日)
	10:50～11:35 三浦 雅彦 先生
	11:40～12:25 和光 衛 先生

3. 定例総会について

〈会 場〉	講堂2階 大講堂
〈日 程〉	5月26日(土)
	10:50～11:40

4. 表彰式・受賞講演について

〈会 場〉	講堂2階 大講堂
〈日 程〉	5月26日(土)
	11:40～12:00

第7回口腔放射線腫瘍教育研修会のお知らせ (旧放射線治療懇話会を含む)

下記の通り、第7回口腔放射線腫瘍認定医審査(筆記試験)に伴う教育研修会が行われます。この教育研修会は学会員どなたでも聴講自由です。放射線治療に興味のある方は奮ってご参加下さい。

例年総会にあわせて開催させて頂いていた放射線治療懇話会は本教育研修会に組み込まれ、今回は大阪歯科大学から放射線治療に関与する施設としての現状を紹介して頂くことにしています。内容は下記の通りです。

日 程：2018年5月25日(金) 16:10～18:20

会 場：神奈川歯科大学 講堂1階 第1小講堂

(時間は変更の可能性がありますので、日本歯科放射線学会
第59回学術大会 HP にて最終確認をお願いします。http://omr59.umin.jp)
〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82
TEL：046-822-8851(大会事務局)

口腔放射線腫瘍に関する教育研修会 16:10～17:10

1. 講義 2科目(各20分)

放射線腫瘍学	広島大学	藤田 實 先生
放射線治療患者の口腔管理	新潟大学	勝良 剛詞 先生

2. 施設紹介(20分)

「ハンガリー国立腫瘍学研究所のご紹介」

大阪歯科大学 秋山 広徳 先生

なお、口腔放射線腫瘍認定審査を受けられる方は、教育研修会に続いて下記の通り、認定審査(筆記試験)が実施されます。

筆記試験：17:20～18:20(※事前申請頂いた方のみ)

連絡先：藤田 實(広島大学)、大森 桂一(北海道大学)

「第24回コンピュータ応用・画像情報研究会」のご案内

「第24回コンピュータ応用・画像情報研究会」を第59回日本歯科放射線学会学術大会前日に、櫻井 孝教授はじめ教室員各位のご厚意により開催できることになりました。

今回は、明海大学 原田康雄先生と鶴見大学 三島 章先生に診断参考レベル(DRL)について講演していただきます。現在の歯科 X 線検査において必要とされる DRL は、主に口内法 X 線撮影、パノラマ X 線撮影および歯科用 CBCT です。既に口内法 X 線撮影に関する DRL は J-RIME によって2015年に報告されていますが、見直しの時期が来ております。また、パノラマ X 線撮影と歯科用 CBCT については新たな DRL の設定が急務となっております。今回のご講演は、歯科 X 線検査の最適化を推進するための重要な情報を提供していただけたらと思います。

アットホームな会ですので、皆様お誘い併せの上、奮ってご参加下さるようご案内いたします。

記

日 時：2018年5月25日(金) 16:10～18:10

会 場：神奈川歯科大学 講堂1階 第2小講堂
神奈川県横須賀市稲岡町82

講演 1

「パノラマ X 線撮影と歯科用コーンビーム CT の 診断参考レベルに適した線量測定法」

原田 康雄 先生(明海大学 歯学部 病態診断治療学講座 歯科放射線学分野)

講演 2

「診断参考レベルを利用した撮影線量の見直し方法 —口内法 X 線撮影を例に—」

三島 章 先生(鶴見大学 歯学部附属病院 画像検査部)

〈連絡先〉

コンピュータ応用・画像情報研究会事務局
〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20
日本歯科大学生命歯学部歯科放射線学講座
佐藤 健児
TEL：03-3261-6516 FAX：03-3261-6521
E-mail：ken-sato@tky.ndu.ac.jp

2018 歯科放射線専門医会(市井の会)の開催について

2018年の「歯科放射線専門医会(市井の会)」定例総会を第59回日本歯科放射線学会総会・学術大会に併せて開催いたします。是非多くの方にご参加いただきますようにご案内申し上げます。

9:00～11:00にリフレッシュセミナーを下記のように企画いたしました。今年は『歯科用CTの最新情報』を知ろうということで、以下の各社から歯科様CTの最新情報のご提供をいただく予定です。

今回も市井で活躍されている歯科放射線専門医だけでなく、認定医の方のご参加も歓迎致します。歯科用CTに興味をお持ちの先生、普段から疑問に思っていることを解決されたい先生、是非多くの方にご参加いただきますようにご案内申し上げます。

日 時：2018年5月27日(日) 9:00～12:00

会 場：神奈川歯科大学 講堂1階 第1小講堂

会 費：2,000円(当日、会場にて受付いたします)

1. リフレッシュセミナー 9:00～11:00

『歯科用CTの最新情報』

朝日レントゲン工業株式会社

株式会社モリタ

株式会社ヨシダ

2. 歯科放射線専門医会(市井の会)総会 11:00～12:00

1) 来年以降の活動に対する打ち合わせ

2) その他

なお本会に関する不明な点や疑問点がございましたら遠慮なくメールしてください。

〈連絡先〉

歯科放射線専門医会(市井の会)

会長：米津 康一

E-mail：yonetsu@kyudai.jp

1日目 5月25日(金)

	本部棟4階 会議室	本部棟5階 会議室	本部棟3階 会議室
10:00	10:00～10:30 第1回被選理事会		
11:00	10:30～13:30 理 事 会		
12:00			
13:00			
14:00	13:30～14:00 学術委員会および学術集会委員会 (合同会議)	13:30～14:00 各種委員会	13:30～14:00 各種委員会
	14:00～14:30 認定委員会 (口腔放射線腫瘍認定委員会)	14:00～14:30 認定委員会	14:00～14:30 各種委員会
15:00	14:30～15:00 第2回被選理事会		

	講堂1階 第1小講堂	講堂1階 第2小講堂	本部棟3階 会議室
15:00	15:10～16:00 代議員会		
16:00	16:10～18:20 口腔放射線腫瘍 研修会・認定審査	16:10～18:10 コンピュータ応用・ 画像情報研究会	
17:00			17:10～18:10 『歯科臨床における 画像診断アトラス』 編集委員会
18:00			
19:00	19:00～ 理 事 懇 親 会		

2日目 5月26日(土) 講堂

	1階 講堂ホール	2階 大講堂	1階 学生ホール	2階 講堂ロビー	1階 第2小講堂	
8:30	8:30～ 16:25 総受付・スライド受付					
9:00		9:25～9:30 開会の辞	9:00～ 16:25	9:00～ 16:25		
10:00		9:30～10:00 一般口演 1 (O-01～03)	ポスター 展示発表	企 業 展 示		
		10:00～10:40 一般口演 2 (O-04～07)				
11:00		10:50～12:00 定例総会 表彰式 受賞講演				
12:00						12:15～12:55 ランチョンセミナー 江島 堅一郎 先生
13:00		13:05～13:45 日本歯科医学会 会長講演 住友 雅人 先生				共催：クロステック株式会社
14:00		13:55～14:40 招待講演 1 Curtis Ssu-Kuang Chen 先生				
15:00		14:45～15:30 招待講演 2 Catherine Poh 先生				
16:00		15:40～16:20 一般口演 3 (O-08～11)				
17:00	16:20～ 特別講演会場へ移動					
	17:00～18:00 特別講演 小泉 進次郎 衆議院議員 会場：メルキュールホテル横須賀					
18:00	18:30～ 懇親会 会場：メルキュールホテル横須賀					

3日目 **5月27日** 講堂

	1階 講堂ホール	2階 大講堂	1階 学生ホール	2階 講堂ロビー	1階 第1小講堂
8:15					
9:00	8:15~15:00 (総合受付は 12:00まで) 総合受付・スライド受付	9:00~9:30 一般口演 4 (O-12~14)	9:00~15:00	9:00~15:00	9:00~12:00
10:00		9:30~10:10 一般口演 5 (O-15~18)	ポスター 展示発表	企 業 展 示	歯科放射線 専門医会 (市井の会)
11:00		10:50~11:35 花村信之メモリアルレクチャー 1 三浦 雅彦 先生	10:15~10:45 質疑・応答 (P-01~19)		
12:00		11:40~12:25 花村信之メモリアルレクチャー 2 和光 衛 先生	ポスター 展示発表		
13:00					
14:00		13:40~14:30 教育講演 藤内 祝 先生			
15:00		14:40~15:20 一般口演 6 (O-19~22)			
16:00		15:20~16:00 一般口演 7 (O-23~26)	ポスター撤去	撤 去	
17:00	16:00~16:40 一般口演 8 (O-27~30)				
	16:40~16:45 閉会の辞				
新病院見学会・資料館見学会					

プログラム

1日目 5月25日(金)

第1小講堂、第2小講堂(講堂1階)

16:10~18:20 研究会

第7回 口腔放射線腫瘍教育研修会

第1小講堂(講堂1階)

第24回 コンピュータ応用・画像情報研究会

第2小講堂(講堂1階)

2日目 5月26日(土)

大講堂(講堂2階)

9:25~9:30 開会の辞 大会長: 櫻井 孝(神奈川歯科大学)

9:30~10:00 一般口演1

座長: 藤田 實(広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 歯科放射線学)

O-01 DNA 損傷と低酸素ストレスに共通する death signal 経路の同定

長崎大学大学院 頭頸部放射線学分野

佛坂 由可

O-02 逆投映法を用いた強度変調放射線治療における線量分布計算の検討

弘前大学大学院保健学研究科 放射線技術科学領域

細川 洋一郎

O-03 3D プリンターで造形した頭頸部放射線治療用マウスピースの有用性

大阪大学大学院歯学研究科 歯科放射線学教室

北森 秀希

10:00~10:40 一般口演2

座長: 大高 祐聖(明海大学 歯学部 病態診断治療学講座)

O-04 放射線着色フィルムと光刺激ルミネセンス線量計による
歯科用コーンビーム CT の線量測定

明海大学 歯学部 病態診断治療学講座(歯科放射線学分野)

原田 康雄

O-05 歯科用コーンビーム CT の患者被曝線量レベル

日本歯科大学 生命歯学部 歯科放射線学講座

佐藤 健児

O-06 いわき市における DIY と自治体貸与線量計による家屋線量低減(2)

森田 康彦

O-07 ディープラーニングを用いたデンタル画像のマウント位置学習における特徴量について

新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野

西山 秀昌

10:50~11:40 **定例総会**

11:40~11:50 **表彰式**

11:50~12:00 **受賞講演**

13:05~13:45 **日本歯科医学会 会長講演**

座長：浅海 淳一（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 歯科放射線学分野）

日本歯科医学会が推進する新機能・新技術

住友 雅人 日本歯科医学会 会長

13:55~14:40 **招待講演 1**

座長：河合 泰輔（日本歯科大学 生命歯学部 歯科放射線学講座）

**From Pike Place Fish to UW Husky
-Univ. of Washington OMFR advanced training program experience**

Curtis Ssu-Kuang Chen Professor, Oral Radiology and Oral Medicine
The University of Washington School of Dentistry

14:45~15:30 **招待講演 2**

座長：馬嶋 秀行（鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 腫瘍学講座 顎顔面放射線学分野）

Translational research using optical technologies in detection and risk assessment of at-risk oral lesions

Catherine Poh Professor, Oral Biological and Medical Sciences
Faculty of Dentistry, The University of British Columbia

座長：五十嵐 千浪（鶴見大学 歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座）

- O-08** 右側下顎枝から顎骨外進展した透過性病変の1例
日本大学歯学部 歯科放射線学講座 荒木 正夫
- O-09** 口腔癌多発転移との鑑別を要したメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患（MTX-LPD）の1例
東北大学大学院歯学研究科 口腔診断学分野 阪本 真弥
- O-10** 根治的顎部郭清術後に発症した病的骨折と考えられる鎖骨近位端骨折の1例
北海道医療大学 歯学部 生体機能・病態学系 歯科放射線学分野 田代 真康
- O-11** 歯牙腫と導帯管の関連性及び特徴的画像所見
九州歯科大学 歯科放射線学分野 小田 昌史

第2小講堂（講堂1階）

12:15~12:55 ランチョンセミナー

共催：クロステック株式会社

座長：櫻井 孝（神奈川歯科大学 大学院歯学研究科 顎顔面病態診断治療学講座）

当歯科病院におけるデジタル X 線画像診断システムについて

江島 堅一郎 日本大学歯学部 歯科放射線学講座

メルキュールホテル横須賀

17:00~18:00 特別講演

座長：鹿島 勇（学校法人神奈川歯科大学 理事長）

人生100年時代、2020年以降の日本

小泉 進次郎 衆議院議員

18:30~ 懇親会

3日目 5月27日(日)

大講堂(講堂2階)

9:00~9:30 一般口演4

座長：西川 慶一(東京歯科大学 化学研究室)

- O-12** MRI 画像における矯正装置によるアーチファクトの定量的分析
大阪大学大学院歯学研究科 歯科放射線学教室 岩本 悠里
- O-13** 医用 CT における金属アーチファクト低減効果の定量的評価
九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 口腔画像情報科学分野 北本 江梨奈
- O-14** 歯科用コーンビーム CT におけるメタルアーチファクト低減の方法と実例
東京工科大学 メディア学部 加納 徹

9:30~10:10 一般口演5

座長：西山 秀昌(新潟大学大学院 医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野)

- O-15** 様々な塩味濃度における脳活動領域について：pilot study
東京歯科大学 歯科放射線学講座 佐藤 仁美
- O-16** 顎口腔領域における拡散強調 MR 画像：最適な脂肪抑制法の検討
大阪大学大学院歯学研究科 歯科放射線学教室 島本 博彰
- O-17** 拡散強調像を用いた顎関節症の咀嚼筋における評価
日本大学松戸歯学部 放射線学講座 澤田 絵理
- O-18** Image quality and ADC assessment of turbo-spin echo and echo-planar diffusion-weighted MR imaging in oral and maxillofacial region
九州大学 歯学府
パンヤラック ワンナカモン

10:50~11:35 花村信之メモリアルレクチャー1

座長：浅海 淳一（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 歯科放射線学分野）

歯科で行う放射線腫瘍学：その基礎と臨床

三浦 雅彦 東京医科歯科大学 口腔放射線腫瘍分野

11:40~12:25 花村信之メモリアルレクチャー2

座長：橋本 光二（日本大学 歯学部 歯科放射線学講座 元教授）

歯科エックス線撮影・装置に関する私の初歩的基礎研究 一守 破 離一

和光 衛 東京歯科大学 歯科放射線学講座

13:40~14:30 教育講演

座長：櫻井 孝（神奈川歯科大学 大学院歯学研究科 顎顔面病態診断治療学講座）

口腔癌の低侵襲治療 一臓器温存を目指して一

藤内 祝 横浜市立大学医学部 客員教授、神奈川歯科大学 副学長

14:40~15:20 一般口演6

座長：飯田 幸弘（朝日大学 歯学部 口腔病態医療学講座 歯科放射線学分野）

O-19 X線画像による下顎運動量の計測法に関する検討

朝日大学 歯学部 歯科放射線学分野

柴田 紀幸

O-20 Utility of fusion volumetric images from computed tomography and magnetic resonance imaging for localizing the mandibular canal

東京医科歯科大学（TMDU）医歯薬学総合研究科 口腔放射線医学分野

ディーポー ジュタマス

O-21 T2強調像を応用した超高速MRIによる舌癌患者の手術前後における嚥下機能評価の有効性

九州歯科大学 歯科放射線学分野

西村 瞬

O-22 嚥下造影検査と嚥下内視鏡検査の同時施行の有用性について
一パイロットスタディー

広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 歯科放射線学研究室

長崎 信一

15:20~16:00 一般口演7

座長：渡邊 裕(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 口腔放射線医学分野)

- O-23** 顎顔面領域に発生した血管奇形における Dynamic MRI での画像評価
岡山大学病院 歯科総合診断室 藤田 麻里子
- O-24** 口腔内超音波検査による舌癌原発巣の DOI (Depth of invasion) はリンパ節転移を予見できるか
新潟大学 大学院医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野 小林 太一
- O-25** 口腔癌頸部リンパ節転移の節外進展診断における 3テスラ black-blood MR imaging 法の有用性
東北大学 大学院歯学研究科 口腔診断学分野 阪本 真弥
- O-26** 18FDG PET/CT における SUV ヒストグラム分析による 口腔扁平上皮癌の組織型予測の検討
新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野 新國 農

16:00~16:40 一般口演8

座長：関 健次(昭和大学 歯学部 口腔病態診断科学講座 歯科放射線医学部門)

- O-27** パノラマ X 線画像を用いた骨粗鬆症の下顎骨下縁皮質骨形態分類における Deep Learning の有用性
朝日大学 歯学部 口腔病態医療学講座 歯科放射線学分野 西山 航
- O-28** パノラマ X 線画像を用いた非復位性関節円板前方転位患者における 関節突起高径の計測
鶴見大学歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座 桐原 有里
- O-29** 咀嚼筋腱・腱膜過形成症患者における 3D 再構成 CT 像 一画像所見の抽出 (第2報)
鶴見大学 歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座 伊東 宏和
- O-30** 歯周炎は上顎洞炎を引き起こす
日本大学 松戸歯学部 放射線学講座 飯塚 紀仁

16:40~16:45 閉会の辞

大会長：櫻井 孝(神奈川歯科大学)

- P-01** 単純 Volumetric interpolated breath-hold examination sequence を用いた
下歯槽神経血管束の描出能について
東京医科歯科大学 大学院 口腔放射線医学分野 渡邊 裕
- P-02** HTML5 と QR コードを用いた教育用コンテンツの開発
福岡歯科大学 診断・全身管理学講座 画像診断学分野 香川 豊宏
- P-03** 口腔顎顔面領域疾患における Shear Wave Elastography の有用性
日本歯科大学 新潟病院 放射線科 小椋 一朗
- P-04** 平成27年度および平成28年度奥羽大学歯学部放射線科臨床研修歯科医
土曜研修に対するアンケート調査
奥羽大学 歯学部 放射線診断学講座 原田 卓哉
- P-05** 頭蓋・顎骨モデルをオブジェクトにしたハイクオリティ3Dモデリングの実験
北見工業大学工学部 地域未来デザイン工学科 機械知能・生体工学コース 早川 吉彦
- P-06** 歯科放射線臨床実習到達試験(miniOSCE)11年の分析
昭和大学 歯学部 口腔病態診断科学講座 歯科放射線医学部門 荒木 和之
- P-07** パノラマ像から異常あるいは正常変異を考えた症例
日本大学 歯学部 歯科放射線学講座 林 悠介
- P-08** Deep Learning によるシェーグレン症候群のCT画像診断の精度
愛知学院大学 歯学部 歯科放射線学講座 木瀬 祥貴
- P-09** 下顎骨を対象とした骨 SPECT 像の解剖学的標準化および
Z-score を用いた定量的評価に関する研究
東京医科歯科大学大学院 口腔放射線医学分野 浅井 桜子
- P-10** 歯科用 CBCT 装置のための MTF 測定用ファントムの開発
—不可解な画像が得られました。その原因は?—
東京歯科大学 化学研究室 西川 慶一
- P-11** 下顎第一大臼歯の歯根と根管形態：歯科用コーンビームCTおよび
人工知能による診断
愛知学院大学歯学部 歯科放射線学講座 有地 淑子

- P-12** 外部照射による口腔癌の根治的放射線治療
—治療成績と顎骨有害事象—
広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 歯科放射線学 藤田 實
- P-13** 口腔癌細胞株を用いた PIK3CA 遺伝子変異解析と
PI3K 阻害剤 NVP-BEZ235 感受性に関する検討
岡山大学病院 歯科放射線・口腔診断科 村上 純
- P-14** CT による埋伏過剰歯の臨床統計学的検討
日本大学 松戸歯学部 放射線学講座 関谷 恵子
- P-15** 携帯型口内法 X 線撮影における矩形絞りによる術者被ばくの低減
明海大学 歯学部 病態診断治療学講座(歯科放射線学分野) 大高 祐聖
- P-16** 頭頸部放射線治療患者に対する口腔ケアに関するシステムティックレビュー
広島大学病院 歯科放射線科 小西 勝
- P-17** それぞれの食物刺激に対する脳活動の違い
東京大学 総合文化研究科 人間行動科学研究拠点 中村 優子
- P-18** テロメラーゼ抑制と X 線照射が口腔扁平上皮癌細胞の増殖に与える影響
日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科放射線学講座 亀田 綾子
- P-19** 口腔・顎顔面領域撮影 e-learning システムの構築
福岡歯科大学医科歯科総合病院 放射線室 稲富 大介

抄 録

日本歯科医学会 会長講演	P26
招待講演	P28
特別講演	P32
花村信之メモリアルレクチャー	P34
教育講演	P38



日本歯科医学会が推進する新機能・新技術

住友 雅人

日本歯科医学会 会長

日本歯科医学会規程において、(学会の活動)第2条「日本歯科医師会の事業のうち次の活動を行なう。」の一項に「歯科医学に関する科学及び技術の進歩発達に関する事柄」とある。平成28年4月に設立した(一社)日本歯科医学会連合定款には(事業)第4条一に「当法人に入会する正会員、準会員、賛助会員を統括し、横断的研究の推進、研究成果の発表、これらに関する対外的な折衝」とあり、どちらも新機能・新技術の研究推進を図ることが最初に示されている。その活動のために両者はそれぞれの立ち位置を明確にしつつ、各加盟分科会や会員との協力でさまざまな取り組みを行ってきている。

日本歯科医学会では日本歯科医師会事業の中の学術事業分担ということから、公的医療保険への導入を目指したさまざまな事業を行ってきた。そのうち、小児の口腔機能に注目し、重点研究委員会で5年をかけて取り組んできた事業の成果は新病名「口腔機能発達不全症」とともに平成30年度の改定で世に示された。そして、各分科会とともに推進してきた医療技術評価提案書からの保険収載は過去最高の40件に上っている。

また、日本歯科医学会では今年4月に、新規の歯科医療機器・技術の開発を行っている方、行おうと考えている方に向けて「あなたのアイデアを臨床へ—How toを学ぼう—」のテーマで学術講演会を開催した。一方、日本歯科医学会連合では「歯科医療・ものづくりの展開」のテーマで研究推進フォーラムを5月に開催した。これら2つの催し物は互いに補完関係にあり、これからの歯科の新機能・新技術を医療の現場に導入するための一つの方略である。これらの動きに注視し、活用していただきたい。

学会事業活動には組織の継続性が重要であり、執行部の交代があっても事業は進められ成果が求められる。それを担保するものが事業の工程表である。もちろんそのときの担当者によって工程表への色付けがなされることもある。そこで事業を起こすにあたっては、はっきりとまで行かなくても、アウトカムの形は思い描いておく必要がある。工程表は方略の根源をなすとはいえ、その時々状況に応じて変更があってもおかしくはない。もっと言えば朝令暮改もありうる。そして並行して行われている他の事業との連携、時には癒合・結合もありなのである。そのためには「柔らかな頭」というか物事に対する柔軟性とポジティブにとらえて前進する意欲が求められる。前進する意欲を担保するものは何なのかと問われれば、自分自身のこだわりと答えておくのがよいのだろう。なににこだわるかは人さまざまである。多くの人たちとの協力体制で物事を進めるにはアウトカムのイメージが必要になる。おぼろげであったもの

が活動によってだんだんとはっきりしてくるという流れが、完成度の高いものへと成長させ、そこにかかわる人たちも自分自身が成長してきたという自覚を伴うものである。その自覚は成果が医療の現場に上がった時点で歓びに代わる。

略 歴

- 1969年3月 日本歯科大学 卒業
- 1973年3月 日本歯科大学大学院歯学研究科(歯科理工学専攻) 修了
- 1973年6月 日本歯科大学口腔外科学第1講座 助手
- 1974年4月 日本歯科大学歯科麻酔学教室 助手
- 1996年5月 日本歯科大学歯学部共同利用研究所 教授(歯科麻酔学併任)
- 2001年4月 日本歯科大学歯学部附属病院長
- 2008年4月 日本歯科大学生命歯学部 部長
- 2013年4月 日本歯科大学 名誉教授
- 2013年7月 日本歯科医学会 会長(1期目)
- 2015年7月 日本歯科医学会 会長(2期目)
- 2016年4月 (一社)日本歯科医学会連合 理事長(1期目)
- 2017年6月 (一社)日本歯科医学会連合 理事長(2期目) 現在に至る
- 2017年7月 日本歯科医学会 会長(3期目) 現在に至る

留 学

- 国内：1974年4月 日本大学医学部板橋病院麻酔科
麻酔およびペインクリニックの研修
- 国外：1980年4月 英国ロンドン大学イーストマン歯科病院麻酔科
歯科外来全身麻酔の研修
- 1981年2月 フィンランド・トゥルク大学医学部歯学科
国際障害者年にあたり、フィンランド国の障がい者対策および障がい者歯科の調査。トゥルク大学での微小循環に関するプロジェクトチーム研究員。トゥルク大学医学部歯学科への留学は日本人最初

受 賞

- The International Federation of Dental Anesthesiology Societies (IFDAS)
Horace Wells Award 2012

一般演題

O-01

DNA 損傷と低酸素ストレスに共通する death signal 経路の同定

○佛坂 由可、片山 郁夫、中村 卓
長崎大学大学院 頭頸部放射線学分野

A common death signal pathway in DNA damage and hypoxic stress

○Yuka Hotokezaka, Ikuo Katayama, Takashi Nakamura
Department of Radiology and Cancer Biology, Nagasaki University School of Dentistry

【目的】これまで私たちは、低酸素ストレスおよび DNA 損傷 (DSBs) に際して、GSK3 β (glycogen synthase kinase) が脱リン酸化することにより α NAC (nascent polypeptide-associated complex) と γ -taxilin タンパク質が分解し、小胞体ストレス応答が起こることで細胞死が誘導される事を見出した。そこで、本研究では、さらにその上流で働くタンパク質の存在を予測し、DNA 損傷と低酸素ストレスに共通する death signal 経路をより具体的に完全な形で提示したい。

【対象と方法】GSK3 β の上流で働くタンパク質を同定するために、これまで GSK3 β との cross-talk が報告されているタンパク質を検索し、これらのタンパク質とこれまで我々が報告した GSK3 β 経路との関係を広範に解析した。これまで通り、DNA 損傷は電離放射線あるいは薬剤を用い、低酸素ストレスは anerobic culture kit にて低酸素培養を行った。Annexin assay と DAPI 染色を行い、細胞死を判定した。共通する death signal 経路の同定は種々の阻害剤を使用し、関連する蛋白発現および活性測定にて分析した。

【結果と考察】DNA 損傷と低酸素ストレスに共通して GSK3 β の上流で働くタンパク質の候補を幾つかに絞り込むことができた。現在さらにその経路の詳細を解明中である。

O-02

逆投映法を用いた強度変調放射線治療における線量分布計算の検討

○細川 洋一郎¹⁾、乃村 和樹²⁾、塩谷 弘一³⁾、寺島 真悟¹⁾

1) 弘前大学大学院保健学研究科 放射線技術科学領域、
2) 聖マリアンナ医科大学病院、3) 大館市立総合病院

Evaluation of Intensity Modulated Radiotherapy (IMRT) Dose Distribution via Intensity Modulation Calculated through the Filtered Back Projection (FBP) Method

○Yoichiro Hosokawa¹⁾, Kazuki Nomura²⁾, Kouichi Shioya³⁾, Shingo Terashima¹⁾

1) Department of Radiation Science, School of Health Sciences, Hirosaki University, 2) St. Marianna University School of Medicine Hospital, 3) Odate Municipal General Hospital

強度変調放射線治療 (IMRT) の放射線治療計画においては、強度変調の最適化を図るため最適化計算に多くの時間を要し臨床上の問題となっている。この欠点を改善するため、SPECT 画像構成法の一つでもある Filtered Back Projection (FBP) を利用し、繰り返し方式による線量強度計算を行わずに画像構成処理のみで直接的に強度変調データを決定する方法を考案した。算出された強度変調データを用い、実際に臨床使用されている放射線治療計画装置内で線量分布の描出を試み、有用性を検討した。

作成したプログラムに、仮想的な計画標的体積 (PTV) を入力し FBP により画像再構成を行い、その過程で得られた強度変調データを、治療計画装置 Pinnacle ならびに治療計画装置 Xio に移植し、治療計画装置上で線量分布が作成可能か、そしてその線量分布計算が適切であるかを検討した。

その結果、本プログラムにより得られた計画標的体積 (PTV) の強度変調データから、回転型 IMRT の線量分布を作成可能であることを確認した。次に、本プログラムにより作成した治療計画を用い、実際に検証用フィルムを挟んだ IMRT 専用ファントムに照射した結果、治療計画装置の線量分布とフィルムの線量分布がほぼ一致していた。

A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, providing a template for writing or drawing.

協賛一覧

寄 付

株式会社シャルレ
朝日レントゲン工業株式会社
西村歯科医院
マクロシステム株式会社
あつ歯科医院
篠原歯科医院
しろせ歯科クリニック
須走歯科医院
プレキシオン株式会社
立川歯科医院
タカノ株式会社
米田歯科医院

展示企業(受付順)

マクロシステム株式会社
カボデンタルシステムズジャパン株式会社
朝日レントゲン工業株式会社
株式会社フラット
株式会社田中歯科器械店
株式会社ジーシー
株式会社モリタ
株式会社近畿レントゲン工業社
タカノ株式会社

広告企業(受付順)

デンツプライシロナ株式会社

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

株式会社フラット

東京デンタルスクール

朝日レントゲン工業株式会社

エーザイ株式会社

京都健康食品株式会社

株式会社モリタ

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

富士フィルムメディカル株式会社

株式会社永末書店

ランチョンセミナー

クロステック株式会社

NPO 法人 日本歯科放射線学会
第59回学術大会・第15回定例総会
プログラム・講演抄録集

平成30年 4月26日 印刷

平成30年 5月1日 発行

発行人：櫻井 孝

発行所：NPO 法人日本歯科放射線学会 第59回学術大会事務局
〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82
神奈川歯科大学 大学院歯学研究科 顎顔面病態診断治療学講座内
TEL：046-822-8851 FAX：046-822-8850
E-mail：jsomfr59@kdu.ac.jp

出版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
